

寄贈図書リスト

移り気な太陽, 桜井邦朋, 四六判, 170 頁, 2,100 円+税, 恒星社厚生閣
地球絶景星紀行, 駒沢満晴, 四六判, 252 頁, 1,900 円+税, 地人書館
平成 23 年 理科年表, 国立天文台編, A 5 判, 1,060 頁,

2,800 円+税, 丸善株式会社
最新天文百科, Michael A. Seeds, Dana E. Backman, 有本信雄 監訳, 560 頁, 15,000 円+税, 丸善株式会社
星空年鑑 2011, (DVD 付き), A4 変形判, 128 頁, 2,480 円 (税込み), 株式会社アストロアーツ

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込みください。

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台主任研究技師

国立天文台は, 世界最先端の観測施設を擁する日本の天文学のナショナルセンターであり, 天文学の進歩に必要な新しい観測手段の開発等も行っています。本公募では, 国立天文台が推進するプロジェクトの実現, 運用に必要な技術開発等を行う技術系職員を募集します。

- 主任研究技師 (常勤職員) 若干名
- (1) 大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台。所属するプロジェクト室, センター等は, 採用後決定。
(2) 所属するプロジェクト室, センターに応じて, 三鷹 (本部), 水沢, 野辺山, 岡山, ハワイ, チリのいずれかになる。
- 天文学またはその周辺分野に関する技術 (ソフトウェア開発, ハードウェア開発, システム技術のいずれか)
- 国立天文台では, 地球・太陽系から恒星・銀河・銀河団・大規模構造・膨張宇宙へとつながる宇宙の様々な現象の解明を目指し, 様々なプロジェク

トの推進を行っています。本台において, 採用後, いずれかのプロジェクト室またはセンターに所属し, プロジェクト推進や運用等に必要な天文学またはその周辺分野に関する技術 (ソフトウェア開発, ハードウェア開発, システム技術のいずれか) にかかわる業務に従事していただくとともに, 国立天文台全体における技術力の向上や技術の継承にも貢献していただきます。また将来的には, 当初の配属先から他のプロジェクト室またはセンターへの配置換もありえます。

- (1) 決定後なるべく早い時期
(2) 任期なし
 - 天文学またはその周辺分野に関する技術 (ソフトウェア開発, ハードウェア開発, システム技術のいずれか) に関して 10 年以上の実績もしくは顕著な業績を有する者で, 大学・高等専門学校卒業, 又はそれと同等以上の学歴を有する者 (ただし, 天文学に関する専門知識は問わない)
 - (1) 履歴書 (写真添付, 学歴は高校卒業から記載), (2) 実績・業績報告書 (現在までの実績 (例えば, 実務経験での具体的内容) や業績 (例えば, 論文, 特許, 学会等での発表など) を明記), (3) 志望動機と抱負, (4) 推薦書 2 通
 - 2011 年 2 月 28 日 (月) 午後 5 時 (必着)
 - (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台長 観山正見
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台総務課人事係
Tel: 0422-34-3657, 3922, 3658
- *職務内容に関する問い合わせ先
国立天文台 技術主幹 郷田直輝
Tel: 0422-34-3616

e-mail: naoteru.gouda@nao.ac.jp

10. 応募書類は、封筒の表に「主任研究技師応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留で送付してください。選考は、国立天文台運営会議で行います。
11. (1) 勤務形態：専門業務型裁量労働制
(2) 待遇
給与、諸手当等：自然科学研究機構の規程による。准教授相当。
健康保険：文部科学省共済組合
年金：文部科学省共済組合
雇用保険：加入
(3) 国立天文台の概要等については下記のホームページを参照してください。
<http://www.nao.ac.jp>

国立天文台岡山天体物理観測所 専門研究職員（特任助教）

1. 特定契約職員：専門研究職員（または特任助教）1名
2. (1) 岡山天体物理観測所
(2) 岡山県浅口市（公共交通機関による通勤手段はありません）
詳細は観測所ホームページ (<http://www.oao.nao.ac.jp/>) をご覧ください。
3. 観測天文学（188 cm 望遠鏡共同利用と岡山 3.8 m 望遠鏡計画の推進）
4. 岡山天体物理観測所は、188 cm 反射望遠鏡による共同利用観測を推進しています。また、岡山 3.8 m 新技術光学赤外線望遠鏡（以下、岡山 3.8 m 望遠鏡）計画を京都大学、名古屋大学、(株)ナノオプトクス・エナジーとの協力により推進しています。さらに、国内の大学との協力ならびにアジア地域における国際協力を積極的に推し進めています。今回、岡山天体物理観測所に所属し、188 cm 望遠鏡の共同利用全般、ならびに、観測装置検討を含む岡山 3.8 m 望遠鏡計画の推進に意欲的に携わってくださる方を募集します。なお、11.にあるとおり、特任助教の称号が認められた場合には、勤務時間の75%で以上の業務に携わっていただいたうえで、残りの25%を研究業務に割り当て、競争力のある研究業績を上げていただきます。
5. (1) 2011年4月1日
(2) 2011年度末（2012年3月末日）まで、年度末ごとに雇用更新可、最長2016年3月末日まで。
6. 業務の遂行に必要と考えられる次のことから。
 - 博士の学位を取得しているか、または採用時に取得が確実なこと。
 - 岡山天体物理観測所の設備を使った観測的研究推進の意欲があること。
 - 観測装置開発の経験があることが望ましい。
7. (1) 履歴書（写真添付）、(2) 研究歴（個人としての研究業績のほか、グループで行った観測装置開発の経験があれば具体的に記入してください）、(3) 研究論文リスト、(4) 主要論文別刷3編、(5) 抱負を含めた研究計画、(6) 本人について意見を述べることのできる方の連絡先（複数）
8. 2011年1月31日（月）17時必着
9. (1) 〒719-0232 岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
国立天文台岡山天体物理観測所
泉浦秀行
(2) 同上。
Tel: 0865-44-2155（代表）
または 0865-44-2156 内線 2236
e-mail: izumiura@oao.nao.ac.jp
Fax: 0865-44-2360
10. 封筒に「岡山天体物理観測所専門研究職員（特任助教）応募」と朱書き。郵送の場合は簡易書留。応募書類は原則返却しません。
11. 国立天文台幹事会議の審査により、特定契約職員として採用します。その後、国立天文台運営会議で承認されると特任助教の称号が付与されます。ただし、特任助教の処遇、勤務形態は特定契約職員（大学共同利用機関法人自然科学研究機構特定契約職員就業規則による）と同じであり、勤務時間は週5日38.75時間、勤務形態は原形労働制、着任旅費は支給されない等、助教とは差異があることにご注意ください。給与はおおむね国立大学法人の助教相当ですが若干の差異があります。健康保険は社会保険、年金は厚生年金に加入となります。選考にあたっては面接を行う場合があります。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

奈良女子大学理学部物理科学科女性教員

1. 2010年5月（第103巻5号）
2. 太田直美（東京理科大学理学部第一部物理学科助教）
3. 2010年12月1日

大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻教員

1. 2010年9月（第103巻第9号）
2. 住 貴宏（名大STE研・助教）
3. 2011年4月1日

東京大学大学院理学系研究科 天文学教育研究センター教員

1. 2010年11月（第103巻11号）
2. 田村陽一（国立天文台 野辺山宇宙電波観測所）
3. 2011年2月1日

研究助成

公益信託林女性自然科学者研究助成基金 助成公募（平成23年度）

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を受託者にお送りください。

対象：わが国の大学、国公立または非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学およびそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する女性研究者（国籍を問わない）。

- 助成内容：(1) 研究助成：16件程度、総額約2千2百万円。
 (2) 林フェロー：博士号を目指す研究者（1百万円）5名程度。2年間助成。
 (3) 国際研究交流助成（国際研究集会での研究発表、海外での共同研究目的渡航）年12件程度、総額200万円。

申込締切日：2011年3月31日（木）(2)は受託者に問

い合わせのこと。

申請書：中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
 中央三井信託銀行本店法人営業部
 公益信託課林基金担当
 Tel: 03-5232-8911 Fax: 03-5232-8919
 e-mail: Masami_Saito@chuomitsui.jp

公益信託山村富美記念女性自然科学者 研究助成基金 助成公募（平成23年度）

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を受託者にお送りください。

対象：わが国の大学、国公立または非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学およびそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する女性研究者（国籍を問わない）。

助成の種類：山村フェロー：博士号を取得している女性研究員（2百万円3名程度。2年間助成）。

申込締切日：2011年3月31日（木）

申請書：中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1
 中央三井信託銀行本店法人営業部
 公益信託課山村基金担当
 Tel: 03-5232-8911 Fax: 03-5232-8919
 e-mail: Masami_Saito@chuomitsui.jp

第42回（平成23年度）三菱財団自然科学 研究助成応募要領

1. 助成の趣旨

近年の自然科学の進歩はめざましく、各学問分野の研究の深化はもとより分野間の相互作用によりつぎつぎに新たな研究領域が誕生しつつあります。このような状況のもとで本事業は、これらの科学・技術の基礎となる独創的かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行います。自然科学のすべての分野^(注)にかかわる、すぐれて独創的な研究を助

成の対象といたします。さらに複数の分野にまたがる新しい現象を模索する実験・理論や、環境問題の基礎的研究も対象といたします。

2. 助成の概要

応募資格

- イ. 原則として、一つのテーマとして独立した個人研究（ただし少数グループによる研究も含む）を対象といたします。完全公募制であり各研究者は自由に応募いただけますが、当該代表研究者が日本国内に居住し、国内に継続的な研究拠点を有する場合（国籍等は不問）に限られます。
- ロ. 営利企業等関係者は対象外となります。
- ハ. 代表研究者および主たる協同研究者は、自然科学研究助成と本財団の他分野助成に、同時に複数応募することはできません。

3. 応募期間

平成 23 年 1 月 5 日(水)～2 月 2 日(水)
(期間内に必着のこと)

4. 応募方法

①「助成申込書」の作成

- イ. “申込書の内容・書式”は、当財団インターネットホームページ上 (<http://www.mitsubishi-zaidan.jp>) にて、“助成概要”、“助成応募要領”等共々、11 月下旬以降、平成 23 年度分を掲載いたしますので、これをご参照ください。

- ロ. “申込書用紙”は、原則として、このインターネットホームページにて Microsoft Word 書式、PDF 書式で示してあるものを、ダウンロードの上、ご使用ください。

上記の方法に依らない場合は、財団事務局宛「宛先記入済の返信用角 2 (A4 サイズ) 封筒に 140 円切手貼付」の上、郵送ご請求あれば、用紙等お送りいたします。

- ハ. 文字数に制限がある項目以外に入力文字制限はありませんが、印刷時に表示されないことがあります。必ず印刷プレビューもしくは印刷物で確認してください。

- ニ. 申込書用紙に直接記入される場合は、黒インクまたは黒ボールペンを使用し、楷書で明瞭に記入してください。

②記入上のご留意点

- イ. お申込みの分野を、添付の 4 桁のコード番号表から選び、申込書 1 頁目、研究題目下部にある該当番号記入欄に表示してください。

- ロ. 代表研究者が大学・その他の研究機関等に所属される場合は、当該大学・研究機関等の所属機関の「長」(注) から本件研究助成申込について

のご承認印を押捺いただいた上、ご送付ください (申込書末尾書式のとおりに)。

また、他機関に所属する協同研究者の参加が必要な場合も、主要な協同研究者については、その協同研究者の所属機関の「長」の了承を得ておいてください。(後日、書面にて確認させていただきますことがあります)。

(注) 例えば、大学院研究科長、学部長、研究所長等、直属の所属機関長。

- ハ. 申込書 2 ページの主要発表論文リストは、全著者名、タイトル、掲載雑誌名、巻、号、掲載頁、西暦年を明記ください。

5. その他

申込書類の提出と受付の確認・助成期間・選考方法・結果通知等はホームページをご参照ください。

【申込書提出先】

公益財団法人 三菱財団事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2 丁目 3-1
(三菱商事ビル 21 階)
Tel: 03-3214-5754, Fax: 03-3215-7168
URL: <http://www.mitsubishi-zaidan.jp>

研究会・集案案内

公開シンポジウム

超大型レーザーによる高エネルギー密度科学の展開

開催趣旨:

アポロ 11 号以来の巨大科学プロジェクトである米国立点火施設 NIF が完成し、両三年の間に人類初の制御された核融合燃焼が起きると期待されている。ここでは、宇宙物理や高エネルギー物理をはじめとする基礎科学の最先端の課題を探索する新しい実験の場が出現する。これを積極的に利用するために、NIF のマシントイムの相当な割合が世界の基礎科学研究に開放されることになった、まさに平和への配当である。このような状況の下、その科学的重要性を広くアピールすることを目的として学術会議シンポジウムを開催し、わが国の基礎科学と関連分野の展望を議論する。

日時: 第一日: 平成 23 年 2 月 14 日(月) 9:30～17:15

第二日: 平成 23 年 2 月 15 日(火) 9:00～17:00

場所: 第一日: 日本学術会議講堂, 会議室 2 室

(記者会見用および講演者控え室)

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

第二日: 泉ガーデンコンファレンスセンター

〒106-6007 東京都港区六本木 1-6-1
泉ガーデンタワー 4・7F

主催：第一日：日本学術会議総合工学委員会
第二日：大阪大学レーザーエネルギー学研究センター

共催：プラズマ核融合学会，レーザー学会

協賛：日本物理学会，日本天文学会，IFE フォーラム，
浜松ホトニクス株式会社，大阪大学レーザーエ
ネルギー学研究センター

後援：(予定) 原子力委員会

申込みホームページ：

<http://www.ile.osaka-u.ac.jp/heds/>

連絡先：〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-6

大阪大学レーザーエネルギー学研究センター内
事務局

Tel: 06-6879-8703

e-mail: heds@ile.osaka-u.ac.jp

その他

「第 52 回科学技術映像祭」参加作品の募集について

科学技術映像祭は、優れた科学技術に関する映像を選奨し、科学技術への関心を喚起し、その普及と向上を図るとともに、社会の科学技術教養の向上に資することを目的としています。「第 52 回科学技術映像祭」の参加作品の募集を開始しました。多くの作品の参加をお待ちしています。

募集締切：平成 23 年 1 月 31 日 (月)

参加方法：科学技術映像祭公式 HP より申込み

<http://ppd.jsf.or.jp/filmfest/>

入選発表：平成 23 年 3 月中旬 (予定)

表彰式：平成 23 年 4 月 22 日 (金) (予定)

(表彰式会場：科学技術館サイエンスホール)

主催：(財)日本科学技術振興財団，(公社)映像文化製作者連盟，(財)つくば科学万博記念財団

2010 年ご寄付者名

2010 年に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。ありがとうございました。深く感謝申し上げます。(敬称略/受付順)

佐藤浩介，松下恭子，大橋隆哉，松永典之，小平桂一，

谷川清隆，佐藤明達，水野恒史，深沢泰司，
on Behalf of the Fermi LAT Collaboration，
富田洋 and MAXI/SSC チーム，安藤壽子，長島 薫

訂正

天文月報 2011 年 1 月 (第 104 巻第 1 号) 10 ページ左欄中程に間違いがありました。

誤) 海部宣男氏が次期総裁予定者となる副総裁 (President-Elect)

正) 海部宣男氏が次期会長となる会長予定者 (President-Elect)

なお、同じ頁の (図 3) は余白の都合で掲載できませんでした。

お詫びして訂正します。

編集委員会より

〈退任の挨拶〉

任期初期はまさに「仮免」状態で、トラブルもあってご迷惑をお掛けしましたが、委員の皆さんと事務の山崎さんに助けられながら、何とか無事委員長を務めることができました。どうもご協力ありがとうございました。また、任期の最後半年はハワイに異動になり、前倒して次期委員長の柏川氏に委員長代理を務めていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

それから何と言っても、天文月報の拠って立つところの、読者からの投稿や編集委員会からの依頼により、さまざまな面白く有益な記事をご寄稿いただいた皆さま、どうもありがとうございました。「より身近な月報」をモットーに、いくつか新企画も展開して参りましたが、まだまだ道半ばです。これから新委員長体制のもと、月報に新たな風が吹くことを期待しつつ、退任の挨拶とさせていただきます。

天文月報編集委員長 児玉忠恭
(国立天文台ハワイ観測所)

4 年前のお正月は入院からスタートし出だしからつまづきましたが、和田・児玉両編集委員長をはじめみなさんに支えられ、天文月報編集委員という職務をなんとか終えることができました。あの時お腹にいた息子も 3 歳を過ぎ、時の流れを身にしみて感じます。これからは、後ろで繰り広げられている人間ドラマなどをあれこれ想像しながら、一読者として天文月報を楽しみたいと思います。

ありがとうございました。 浅井 歩 (京都大学)

4年間どうもありがとうございました。始めはたいへん長い期間だなあと感じていましたが、過ぎてみるとたいへん短く感じています。後半には、企画を組ませてもらい、読者の皆さんにどこまで満足していただけるかわからないままでしたが、自分ではたいへん貴重な時間を過ごさせていただきました。たいへんお世話になりました。

衣笠健三（ぐんま天文台）

4年間、天文月報の編集委員を務めさせていただきました。毎号、校正のためにゲラ刷りを読みなおすことは、天文学の全分野の最新知識を学ぶ良い機会にな

りました。天文学会のお役に立てたと言うよりもありがたくも勉強の機会をいただけたということだったと思います。

三好 真（国立天文台・電波研究部）

4年間委員を務めさせていただきました。編集校正などの定期的な仕事はなんとかこなしたものの、記事集めや企画提案では活躍できず、少し心残りな部分もあります。今後は編集委員の経験を活かして、校正の必要ない記事を寄稿し、話題を提供できるアクティブな読者として貢献したいと思います。

吉田直紀（東京大学 IPMU）

天文月報オンライン/投稿用アップローダーの ID とパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計 10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

柏川伸成(編集長), 市来浄与, 勝川行雄, 鈴木 建, 徂徠和夫, 竹井 洋, 野田寛大, 浜名 崇, 廣田朋也, 前野将太, 山崎 了

平成 23 年 1 月 20 日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

©社団法人日本天文学会 2011 年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)